

2006 年度 小委員会活動成果報告

(2007 年 2 月 12 日作成)

小委員会名	集合住宅委員会	主 査 名：福田 展淳 就任年月：2006 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学本委員会(環境設計運営委員会)	委員長名：加藤 信介 主 査 名：三浦 昌生
設 置 期 間	2006 年 4 月 ~ 2009 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	集合住宅の屋外及び屋内の環境工学分野での研究成果や知見を具体的な計画・設計に取り入れるための検討を行う。 ・2006 年、設計・計画に行かせる環境工学的知見の抽出、文献収集 ・2007 年、出版物の検討 1：データ整理、執筆者、執筆依頼の検討、文章依頼、文章作成、研究協議会の準備・・・プライベート HP 上での検討、意見交換 ・2008 年、大会研究集会の開催、シンポジウムの準備、出版物の検討 2：編集作業、・・・プライベート HP 上での検討、意見交換、パブリック HP での公開 ・2009 年、シンポジウムの開催、出版物の刊行	
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無： なし 福田展淳(主査/北九州市立大学) 隈裕子(幹事/北九州市立大学) 平松友孝(大成建設) 高偉俊(北九州市立大学) 尾崎明仁(京都府立大学) 中島裕輔(工学院大学) 山本洋史(東京ガス) 吉田正(オブザーバー/東京ガス)	
設置 WG (WG 名：目的)		
2006 年度予算	130,000 円	ホームページ公開の有無： 委員会 HP アドレス： http://news-sv.aij.or.jp/kankyo/s2/houseWG/framepage.htm

項 目	自己評価
委員会開催数	3 回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 小委員会の方針に関する議論し、出版物の内容、対象、意義、必要性など、委員間で共通の出版物のイメージを作ることができた。 80% 2. 各委員で担当分野を分け、それぞれ関連分野で項目の整理を行った。80% 3. 必要度の高いテーマの抽出は、議論を行ったがまとまっていない。 40%
委員会活動の問題点・課題	1. 9 月まで、3 回の委員会を行ったが、主査の福田が 1 年間海外に赴任したため、活動が、半年間休止状態と成っている。 2. ホームページに抽出項目を列記する予定であったが、項目抽出が終わっておらず、HP に掲載できていない。

* 小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。

* 環境本委員会傘下の小委員会においては、上記の活動成果報告書に加えて、以下の自己評価を記入すること。

* 中間年度には中間評価を、最終年度には最終評価としての自己評価を記入すること。

2006 年度 小委員会活動 自己評価

(中間年度評価)

総合評価 (4 段階評価)	B
総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)	<p>2006 年度は、2005 年度のワーキングで議論した内容に基づき、環境工学分野で発表されている集合住宅に関する論文を調査し細目に分け分類した。その分類に基づき、特に設計時に活かすべき内容を含む研究及び必要度の高い内容を抽出するための検討を委員会の場で行った。また、各委員から活かすべき知見について、それぞれの分野から、発表、および情報交換を行った。</p> <p>2006 年 9 月の段階で 3 回の委員会を行い、集合住宅関連の環境工学分野でのトピック、問題点、最終的な出版物の内容などについて話し合い、「設計者から集合住宅を購入しようとしている一般の住宅購入者までの広い層を対象に、環境工学分野での知見や、基本的な事項についてわかりやすく解説をする」出版を目指すこととした。</p> <p>特に、環境工学の分野において、設計者が落ち入り易い誤りや勘違いなどについて解説し、実際に建設される集合住宅が基本的な性能を有するものとなるような啓蒙書とすることとした。ただし、対象は、設計者に絞らず、一般の住宅購入者にも分かり易い構成とすることで、メンバー全員で、ほぼ共通したイメージを共有することができた。</p> <p>ただし、重要項目、必要度高い項目の抽出、不足分野の担当をどのように補充するか等が未解決のままである。</p>

- 総合評価は 4 段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
 - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
 - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から 80%の達成度
 - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から 70%の達成度
 - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価（シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など）に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。